

日刊建設工業新聞（2020年5月27日付1面掲載）
【パソコン、オリコンサルグローバル、ソフトバンク
道路メンテ新会社設立 米で23年サービス開始目指す】

パソコン、オリコンサルグローバル、ソフトバンク 道路メンテ新会社設立 米で23年サービス開始目指す

事業展開のイメージ



道路メンテナン
スが急務となっ
ている米国を対
象に、コネクテ
ッドカーを走ら
せて路面の損傷
情報をクラウド
サーバーに集積
。3社が持つ
インフラやIoT
（モノのインタ
ーネット）関連
のノウハウを融
合し、道路管理
者に安い価格で
情報を提供

パシフィックコンサルタ
ンツら3社は、米国で道路
メンテナンズ事業に参入す
るため新会社を設立した。
さまざまなセンサーを搭載
したコネクテッドカーを走
らせながら、路面の凹凸
やひび割れなどをビッグデ
ータとして収集し解析。自
治体を含む道路管理者に補

修が必要な道路の情報を提
供し、効率的な維持管理に
つなげる。
2023年のサービス開
始を目指す。
新会社の名称は「i-Probe」
（バージニア州マ
クリーン、渡邊眞道社長）。
出資比率はパソコン51%、
オリエンタルコンサルタン
ツグローバル25%、ソフトバ
ンク24%。3月31日に
発足した。

する。営業活動の強化を進
め、「24年度には単年度黒
字化を目指す」（パソコン）
考え。
パソコンら3社は、19年
2月にコネクテッドカーを
利用した道路メンテナンズ
の事業化に向け覚書を締
結。既に米国内の自治体と
パートナーシップを結び、
実証実験などを実施する。